



水産業



インド

チェンナイ

BOP層実態調査レポート

インドにおいて水産業はいくつかの点で重要であるが、最も大きいのは沿岸部に居住する世帯の生活の手段としての役割である。インドの水産分野には1,400万人（2003年FAO推計）以上が就業している。

インドの水産業は、世界の漁業生産の約4.4%を占め、GDPの1.1%、第1次産業GDPの約4.7%を占めている。インド政府によれば、漁業生産のうち海面漁業の割合が39%、内水面漁業の割合が61%である。インドは漁業生産で世界第3位、内水面養殖で世界第2位となっている（世界銀行2011報告）。

水産業は州政府と中央政府が共同で所管している。州政府は領海である12海里以内を所管し、中央政府は12海里から200海里までの排他的経済水域（EEZ）を所管している。

生産量と成長率

水産業は、水の種類に応じて3つに分類することができる。

1. 海面漁業
2. 内水面漁業
3. 汽水面漁業

右表の通りインドは豊かな生産資源に恵まれている。

沿岸	8,129 km
排他的経済水域	202万km ²
河川・運河	19万7,024 km
貯水池	315万ha
池・ため池	235万ha
汽水域	124万ha
河口	29万ha

出所：Present and Future Scenario of Indian Marine Fisheries, CMFRI Cochin

国内需要は、FAOの推計では1人当たりの魚の消費可能量は4.8 kgであるが、魚を食べる人口を考えると、1人当たり約9 kgになる。国内需要に加えて輸出需要があり、米国、欧州、アジア諸国に輸出されている。また、加工業も発達しており、良好な需要・供給状況が、水産業の成長と所得増につながっている。



独立以来、水産物の生産量は継続して増加している。1950年に80万トンだった生産量は、1990年代初頭に410万トンまで増加した。1990年代から2010年にかけて成長が加速し、海洋・淡水水産物の生産量は合計で650万トンに達した。このうち55%は内水面部門と養殖である。

主な漁法

インドの主な漁法には次のものがある。

トロール漁	トロール漁が用いられるのは主に遠洋漁業で、主として水深400メートルまでの海域で操業している。トロール船は2日以上航海で、イカなどの商業価値の高い魚を狙う。
引き網漁	南部沿岸(タミル・ナード州、ケララ州、カルナータカ州など)で行われる巻き網が最も一般的で、主にイワシ、カタクチイワシ、サバを獲っている。
刺し網漁	過去数十年に、機械化された刺し網が増加し、サバ、マナガツオ、マグロ、アジなどの漁に用いられている。
袋網漁	主に北西部と北東部沿岸の零細漁業者に用いられ、水深40メートルまでの水域でエビやカタクチイワシの漁を行っている。
はえ縄漁	現在、海面漁業の水揚げ量に占める割合は約2%であり、主な魚種としては、マグロ、カマス、サメなどがある。
伝統的漁法	人力による零細な伝統的な漁は、機械化の進展により1960年の88%から現在は推定で2%まで縮小している。

養殖

インドで養殖が始まったのは、1980年代後期である。インドが繁殖・飼育技術を持つ魚種に各種の鯉があり、近年ではナマズや雷魚、エビなどが加わっている。

養殖資源として、235万haの池と湖、315万haの貯水池、72万haの高地にある湖、107万haの小規模水源がある。現在のところ、養殖に利用されているのは資源の10%に満たない。

FAOの推計では、さらに沿岸の汽水域が120万ha、塩分を含む水域が850万haあり、このうち260万haが養殖に利用できる。しかし、現在養殖に利用されているのはその約13%である。



電話インタビュー結果

Deisingu氏

住所: マハーバリプラム (タミル・ナード州) 年齢: 44歳 職業: 漁業 (海面漁業)

1	どのような漁法を利用しているのか。	機械化した漁船を所有し、3人を雇用している。洋上20 kmほどの沖合で網を用いて漁をしている。
2	漁船を所有するコストはどのくらいか。	漁船にはモーターとエンジンを備えている。モーターは8万ルピー、エンジンは5万ルピーである。ディーゼル油は1リッター50ルピー。魚の種類に応じて数種類の漁網を用いるが、通常5万ルピーほどする。人件費は1日1人200ルピー。
3	通常、獲っている魚は何か。	eral, kavalai, nethali, kovala, vanzaram (いずれも現地名) やエビなど。
4	漁による収入はどの程度か。	通常、週に1,000から1,500ルピー。
5	どんな魚の販売ルートを使っているか。	日常的には、水揚げは競りにかけ、仲買人に買い取られる。売れ残った魚は地元の市場に持ち込み、家族が小売りする。
6	仕事でどのような問題があるか。	船を持つために20万ルピーの借金を抱えた。漁業は季節性があり、8月から10月にかけて漁が行われぬ。貯蓄のほとんどは借金返済に充てるため、収入が安定しない。

Kannan氏

住所: パラッカド (ケララ州) 年齢: 40歳 職業: 漁師 (内水面漁業)

1	どのような漁法を利用しているのか。	内水面で、伝統的な漁網を使って漁をしている。池の水を抜いて魚を獲ることもある。
2	通常、獲っている魚は何か。	種類としては、鯉類、ナマズ、katla, rogu, mrigal (地元の名称) である。
3	漁による収入はどの程度か。	通常、週に3,000ルピー。
4	どんな魚の販売ルートを使っているか。	水揚げは、川下の小売仲介人に販売する卸売業者に売っている。
5	仕事でどのような問題があるか。	仕事上の問題は多くない。漁獲物は10~15時間以内に販売し、卸売業者が冷凍設備に魚を貯蔵できるようにしなければならない。銀行からの融資は簡単に受けられる。

JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。